

調査票・単純集計データ

＜ご回答にあたってのお願い＞

- ご回答をお願いした方ご自身名義で保有する金融商品についてお答えください。
- 預貯金など、ご家族で共有していて持ち分の区分が困難な金融商品の金額についてお尋ねする質問については、ご自分の持ち分と思われる金額をお答えください。
- 質問にしたがって、選択肢のあてはまる番号に○をつけてください。
- 金融商品ごとにご回答いただく質問では、下表の区分に従ってお答えください。

【主な金融商品・取引一覧表】

・ 預貯金	→	銀行預金（円貨、外貨）、ゆうちょ銀貯金（郵便貯金）など
・ 信託	→	貸付信託、金銭信託、教育資金贈与信託、遺言信託など
・ 株式	→	株式（株式ミニ投資、株式累積投資、従業員持株制度を含む）、新株予約権など（外国で発行されたものを含む）
・ 投資信託	→	株式投資信託、公社債投資信託、MMF、MRF、ETF（上場投資信託）、不動産投資信託（REIT）など（外国で発行されたものを含む）
・ 公社債	→	国債、地方債、社債、転換社債、金融債、仕組債など（外国で発行されたものを含む）
・ 有価証券関連デリバティブ商品	→	有価証券関連の先物取引、オプション取引、CFD取引、バイナリー・オプション取引など（日経 225 先物、JPX 日経 400 先物、日経 225 オプション、日経 225mini など）
・ 有価証券関連デリバティブ商品 以外のデリバティブ商品	→	外為証拠金取引（FX）、CFD取引、バイナリー・オプション取引、商品先物取引など

〔１〕金融商品の保有実態や金融資産への意識などについて お伺いします。

【全員にお伺いします。】

問１ 次の金融商品のうち、あなたが現在保有しているものをお答えください。ご回答にあたっては、前ページに記載の【主な金融商品・取引一覧表】をご参照ください。（いくつでも）【n=7,000】

１．預貯金（普通預金、当座預金や定期預金など）	92.2
２．信託	1.2
３．株式	13.6
４．投資信託	10.8
５．公社債	2.2
６．有価証券関連デリバティブ商品	0.2
７．有価証券関連デリバティブ商品以外のデリバティブ商品	0.3
８．その他（具体的に	） 0.6
９．いずれも持っていない	→選択肢「９」を選んだ方は、問８へお進みください。 7.2

(NA:0.0)

【いずれかの金融商品をお持ちの方に（問１で、「１～８」に○印の方）】

問２ あなたが現在保有している金融資産の合計額はいくら位ですか。預貯金・信託以外については時価でお答えください。（１つだけ）【n=6,493】

１． 10 万円未満	7.4	６． 500 ～1,000 万円未満	14.9
２． 10 ～ 50 万円未満	11.5	７． 1,000～3,000 万円未満	10.9
３． 50 ～ 100 万円未満	11.2	８． 3,000～5,000 万円未満	2.2
４． 100～ 300 万円未満	20.2	９． 5,000 万円以上	1.1
５． 300～ 500 万円未満	13.7		

(NA:6.9) 【平均値】 634.8 万円

問３ そのうち、有価証券（株式、投資信託、公社債）の保有額（問１の選択肢３・４・５に該当する商品の合計額）はいくら位ですか。時価でお答えください。（１つだけ）【n=6,493】

１． 10 万円未満	2.6	６． 500 ～1,000 万円未満	2.6
２． 10 ～ 50 万円未満	2.8	７． 1,000～3,000 万円未満	2.4
３． 50 ～ 100 万円未満	2.9	８． 3,000～5,000 万円未満	0.4
４． 100～ 300 万円未満	5.1	９． 5,000 万円以上	0.3
５． 300～ 500 万円未満	2.3	10． 有価証券は保有していない	69.3

(NA:9.1) 【平均値】 579.2 万円

問4 あなたは、月々の収入、及びボーナスから、それぞれ何パーセント位を金融商品（預貯金で、日常的な入出金、口座引落しに備えた部分を除きます。）にまわしていますか。（それぞれ1つずつ）
【n=6,493】

		1～ 10% 未満	10～ 20% 未満	20～ 30% 未満	30～ 50% 未満	50% 以上	金融商品に はまわして いない	該当す る収入 はない	(NA)	【平均 値】
a. 月々の収入は (給与・年金など(注))	→	24.0	14.6	5.6	2.6	2.8	31.5	17.8	1.2	15.1
b. ボーナスは	→	9.4	5.3	3.0	3.0	4.4	17.9	53.9	3.0	23.4

(注) 月々の収入の具体例は198ページの設問F5をご参照ください。

問5 預貯金や有価証券などの金融資産を保有する目的をお答えください。（いくつでも）【n=6,493】

1. 将来・老後の生活資金	68.6
2. 子供や孫の教育資金	27.9
3. 住宅の取得や結婚などのライフイベント費用の捻出	8.8
4. 耐久消費財（自動車、家電など）やレジャー（スポーツ、旅行など）費用の捻出	24.7
5. 将来の不測の事態（病気、失業、自然災害など）への備え	37.8
6. 現金の盗難対策	3.8
7. その他（具体的に	1.4
8. 特に目的はない	13.0

(NA:0.7)

問6 あなたは、金融商品のどのような点を重視しますか。（いくつでも）【n=6,493】

1. 利回りが良いこと	23.7
2. いつでも出し入れができること	46.1
3. 元金が安全なこと	38.1
4. 値上がりが期待できること	10.9
5. 税金面で有利になること	5.9
6. 各種料金の自動引落などに利用できること	10.4
7. インターネット（パソコン、スマートフォン等）で取引できること	9.1
8. その他（具体的に	0.3
9. 特に重視していることはない	23.5

(NA:0.8)

問7 あなたは今後、有価証券（株式、投資信託、公社債）を購入したいと考えていますか。
(それぞれ1つずつ) 【n=6,493】

		今後1年以内に 購入したい	時期は未定だが 購入してみたい	今のところ 購入するつもりは ない	(NA)
a. 株式	→	5.4	10.5	83.2	0.9
b. 投資信託	→	4.2	9.6	85.4	0.9
c. 公社債	→	0.5	3.9	94.3	1.3

【全員にお伺いします。】

問 8 あなたが興味を持っている金融商品を、現在保有しているものも含めてお答えください。
(いくつでも) 【n=7,000】

1. 預貯金	54.7
2. 信託	3.6
3. 株式	18.1
4. 投資信託	14.5
5. 公社債	3.2
6. 有価証券関連デリバティブ商品	0.4
7. 有価証券関連デリバティブ以外のデリバティブ商品	0.7
8. その他（具体的に	0.6
9. 興味を持っている金融商品はない	34.9

(NA:0.5)

問 9 あなたは、金融資産を増やすために、証券投資（株式・投資信託・公社債への投資）が必要だと思いますか。（1つだけ） 【n=7,000】

1. 必要だと思う	30.9	→選択肢「1」を選んだ方は、問 10 へお進みください。
2. 必要とは思わない	68.9	→選択肢「2」を選んだ方は、問 13 へお進みください。

(NA:0.2)

【「証券投資が必要」とお答えの方に（問 9 で、「1」に○印の方）】

問 10 必要だと思う理由は何ですか。（いくつでも） 【n=2,164】

1. 将来・老後の生活資金として準備できるから	59.2
2. 現在の保有額では将来の生活に不安だから	32.5
3. 預貯金だけでは十分な利息を期待できないから	63.7
4. 将来のインフレに備えることができるから	14.2
5. その他（具体的に	0.8
6. 特に理由はない	4.4

(NA:0.1)

問 11 あなたは証券投資について、どのような内容を知りたいと思いますか。（いくつでも）
【n=2,164】

1. 口座開設や金融商品の売買方法に関する具体的な方法	26.3
2. 投資対象となる商品の種類・仕組み・リスクやリターン	45.6
3. 実際に投資をしている人のノウハウややり方・投資額	28.9
4. 自分に適した投資の商品・スタイル	46.1
5. 証券税制の仕組み（NISA・つみたて NISA を含む）	28.0
6. 経済に関する全般的な知識	23.8
7. 投資のリスクを減らす方法	34.6
8. 既に投資をしている人達の成功談・失敗談	17.5
9. 投資を始めるにはどの程度の資金が必要か	15.9
10. 知識は必要ない	5.8
11. わからない	9.0

(NA:0.6)

問 12 あなたは証券投資に関する知識を習得する場合、どのような方法が良いと思いますか。

(いくつでも) 【n=2,164】

1. 中立的な機関（大学・団体・証券取引所など）が実施する無料のセミナーへの参加	31.6
2. 証券会社や金融機関などが実施するセミナーへの参加	20.5
3. 証券会社や金融機関などの担当者からの説明	27.0
4. 証券会社や金融機関などの冊子やパンフレットからの情報	11.6
5. 金融専門誌や書籍からの情報	16.8
6. パソコンやタブレットを利用したインターネットからの情報	36.8
7. スマートフォンを利用したインターネットからの情報	33.3
8. 新聞やテレビ、ラジオからの情報	16.5
9. 周囲の投資経験者からの意見やアドバイス	23.7
10. わからない	10.5

(NA:0.2)

※ 回答後、問 14 へお進みください。

【「証券投資は必要ない」とお答えの方に（問 9 で、「2」に○印の方）】

問 13 必要と思わない理由は何ですか。（いくつでも）【n=4,825】

1. 損する可能性があるから	43.7
2. 価格の変動に神経を使うのが嫌だから	27.9
3. ギャンブルのようなものだから	28.2
4. 証券投資をするためのまとまった資金がないから	20.6
5. 金融や投資に関する知識を持っていないから	30.2
6. 周りに証券投資をしている人がいないから	5.9
7. 将来・老後の生活資金は十分持っているから	2.3
8. その他（具体的に	2.0
9. 特に理由はない	25.5

(NA:1.1)

〔2〕有価証券に関する意識や行動に対する新型コロナウイルスの影響についてお伺いします。

【全員にお伺いします。】

問 14 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、拡大前（2019 年以前）と比べて、あなたの有価証券（株式、投資信託、公社債）に関する意識や行動に変化はありましたか。（1 つだけ）【n=7,000】

1. 有価証券取引を始めた	1.3
2. 有価証券取引を再開した（再開しようと思っている）	0.7
3. 感染拡大前から取引を行っており、特段の変化はない（取引を続けようと思っている）	12.8
4. 有価証券取引をやめた（やめようと思っている）	1.3
5. 有価証券取引を始めるために、勉強を始めた（勉強を始めようと思っている）	6.1
6. 有価証券取引に興味はなく、有価証券を保有するつもりもない	71.5
7. その他（具体的に	4.3

(NA:1.9)

〔3〕金融商品の知識などについてお伺いします。

【全員にお伺いします。】

問 15 あなたは、これまで学校、職場や家庭で証券投資に関する教育を受けたことがありますか。

(1つだけ) 【n=7,000】

1. 受けたことがある	6.4
2. 受けたと思うが、あまり覚えていない	12.7
3. 受けていない	80.8

(NA:0.1)

問 16 日々の生活に関連した金融の基礎知識や経済の仕組みについて、あなたはいつ頃から学び始めるべきだと思いますか。(1つだけ) 【n=7,000】

1. 小学校入学前から	1.1
2. 小学校から	13.9
3. 中学校から	24.2
4. 高等学校から	24.5
5. 大学・専門学校から	7.3
6. 社会人から	13.3
7. その他(具体的に)	0.8
8. 必要ないと思う	14.6

(NA:0.4)

問 17 あなたは、証券投資全般についてどのようなイメージをお持ちですか。(いくつでも)

【n=7,000】

1. 資産を増やす	37.6	6. 難しい	50.9
2. 将来・老後の生活資金の蓄えに役立つ	20.7	7. お金持ちがやるもの	27.2
3. 勉強になる	10.3	8. ギャンブルのようなもの	30.7
4. 社会貢献に役立つ	2.8	9. なんとなく怖い	30.6
5. 面白そう	3.7	10. しつこく勧誘される	10.5
		11. その他(具体的に)	2.1

(NA:0.4)

問 18 あなたが安心して証券投資を行ううえで、特に強化すべきと思うことは何ですか。(いくつでも)

【n=7,000】

1. 不公正な取引などへの厳格な対応	39.7
2. 高齢者などへの適切な勧誘ルール	24.9
3. 悪質な業者・営業員の排除	50.3
4. 上場企業に対するチェック機能の強化	12.0
5. 金融・証券に関する知識習得の支援	34.1
6. 金融商品の特徴や留意点などを無料で相談できる窓口の提供	24.9
7. 購入後のアフターフォロー	35.4
8. その他(具体的に)	5.3

(NA:2.7)

問 19 あなたは、証券投資をする場合、「長期投資」・「積立投資」・「分散投資」（注）が、リスクを減らすために有効な方法であることをご存知ですか。（1つだけ）【n=7,000】

1. 知っている	14.8
2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない	25.5
3. 知らない（聞いたこともない）	59.4

(NA:0.2)

（注）「長期投資」は、じっくりと資産形成するために長期にわたって金融商品を保有し続ける投資方法です。長く保有すれば、リターンの変動幅が小さくなり、安定した収益を得ることが期待できます。

「積立投資」は、自分が決めたタイミング・金額で定期的に金融商品を購入する投資方法です。あらかじめ自分で設定した内容で少額ずつ投資することで、購入価格の安定化が期待できます。

「分散投資」は、投資先や購入する時期を分散させることで、価格の変動を抑え、安定したリターンを狙う投資方法です。

問 20 あなたは「ESG 投資」（注）についてご存知ですか。（1つだけ）【n=7,000】

1. 内容を知っており、ESG 関連金融商品に投資したことがある	0.7
2. 内容を知っており、かつ興味もあるが、ESG 投資を行ったことはない	2.1
3. 内容は知っているが、特に興味はない	3.5
4. ESG 投資という手法があることは知っているが、内容まではよく知らない	6.6
5. 知らない（聞いたこともない）	86.7

(NA:0.5)

（注）「ESG 投資」とは、環境（Environment）・社会（Social）・企業統治（Governance）に配慮している企業を重視・選別して行う投資を言います。

問 21 あなたは以下の機関をご存知ですか。（それぞれ1つずつ）【n=7,000】

		業務内容を含め 知っている	名前を知っている 程度	知らない	(NA)
A. 証券取引等監視委員会	→	5.2	32.8	61.2	0.8
B. 日本投資者保護基金	→	1.4	11.3	86.0	1.2
C. 日本証券業協会	→	3.8	28.1	67.0	1.1
D. 東京証券取引所	→	15.5	57.2	26.7	0.6
E. 証券・金融商品あっせん 相談センター（FINMAC）	→	1.1	9.1	88.8	1.1

（注）上記機関の主な業務は以下のとおりです。

A. 証券取引等監視委員会…日常的な市場監視や証券会社等に対する証券検査、インサイダー取引等の不正取引についての取引調査、有価証券報告書虚偽記載等の不正会計等についての開示検査のほか、取引の公正を害する悪質な違反行為に対する犯則調査等を行う機関です。また、市場において不正が疑われる情報や投資に関する詐欺行為等の情報を幅広く受け付けています。

B. 日本投資者保護基金…証券会社が経営破たんした際に、顧客から預かっていた有価証券・金銭（＝顧客資産）の返還が困難になってしまった場合に、一人あたり上限1,000万円の範囲で金銭による補償を行う機関です。

（なお、そもそも証券会社は、顧客資産を自社の資産と区別して管理することが法律上義務付けられています。これを「分別管理義務」といいます。証券会社に預けてある顧客資産は分別管理義務と投資者保護基金による補償制度の2重のセーフティーネットにより守られています。）

C. 日本証券業協会…証券会社及び銀行等の登録金融機関を協会員として、①自主規制業務（協会員に適用される規則の制定・実施、監査、制裁等）、②金融商品取引業及び金融商品市場の発展に資する業務（調査研究、意見表明、統計の公表等）、③国際業務と国際交流（国際会議への参加、日本市場の海外プロモーション等）を主な業務とする機関です。

D. 東京証券取引所…株式等の有価証券の売買を行うための市場施設の提供、相場の公表及び有価証券の売買の公正の確保等に係る業務を行う機関です。

E. 証券・金融商品あっせん相談センター…株や投資信託、FXなど金融商品の取引に関するトラブルについて、相談や苦情を受け付け、公正・中立な立場で解決を図る機関です。相談・苦情処理で利用者の納得が得られない場合の制度として、弁護士による紛争解決のためのあっせん制度も運営しています。

問 22 あなたは「証券投資の日」をご存知ですか。（1つだけ）【n=7,000】

1. 「証券投資の日」という名前を聞いたことがある	3.3
2. はじめて聞いた	96.3

(NA:0.5)

【説明】NISA(ニーサ)(少額投資非課税制度)について

ONISA(ニーサ)の概要

NISA は、2014 年（平成 26 年）1 月から導入された少額投資非課税制度です。通常、株式や投資信託などの金融商品に投資をした場合、これらを売却して得た利益や受け取った配当に対して 20.315%の税金（復興特別所得税含む）がかかりますが、NISA は「NISA 口座（非課税口座）」内で、毎年一定金額の範囲内で購入した金融商品から得られる利益が非課税になります。

○ NISA(ニーサ)の種類	① NISA	② つみたて NISA
対象者	日本在住 20 歳以上(注1)	日本在住 20 歳以上(注1)
非課税投資枠	120 万円/年(注2)	40 万円/年
非課税期間	最長5年間	最長 20 年間
口座開設期間	2028 年まで	2042 年まで
対象商品	上場株式、ETF、投資信託等	一定の要件を備えた投資信託等

(注)1. 成人年齢の引き下げに伴い、2023 年1月1日より、対象者は NISA・つみたて NISA については「日本在住 18 歳以上」となります。

2. 2024 年1月1日以降は、1 階部分(つみたて NISA 方式、非課税投資枠 20 万円/年)と 2 階部分(NISA 方式、非課税投資枠 102 万円/年)で構成される2階建ての新しい制度への移行に伴い、非課税投資枠は「122 万円/年」となります。

【全員にお伺いします。】

問 23 あなたは、「NISA(ニーサ)(少額投資非課税制度)」についてご存知ですか。（1つだけ）
また、NISA 口座で投資をしている方は、その投資額（買付合計金額）を 600 万円以内でお答えください。【n=7,000】

1. NISA 口座を開設し、NISA 口座で投資をしている	→ 平均値 132.8 万円	7.5	→ 問 27 へ
2. NISA 口座を開設しているが、NISA 口座で投資をしたことはない		2.9	→ 問 24 へ
3. NISA の内容を理解しており、今後、NISA 口座を開設したい		2.3	→ 問 27 へ
4. NISA の内容を理解しているが、NISA 口座を開設するつもりはない		4.9	→ 問 25 へ
5. NISA という言葉を聞いたことがあり、興味を持っている		9.9	→ 問 26 へ
6. NISA という言葉を聞いたことはあるが、興味はない		30.2	→ 問 25 へ
7. 知らない		42.0	→ 問 27 へ

(NA:0.4)

【NISA 口座を開設しているが、投資をしたことがない方に（問 23 で「2」に○印の方）】

問 24 NISA 口座を開設したものの、これまで NISA 口座で投資をしなかった理由は何ですか。
(いくつでも) 【n=200】

1. 市場動向により、投資時期を見極めているため	10.0
2. 投資商品を見極めているため	15.0
3. 投資する資金が確保できなかったため	23.0
4. 口座が開設されるまでの間に投資意欲がなくなってしまったため	18.0
5. 営業員からの勧誘がなかったため	6.5
6. 非課税投資額が少額である（投資したい商品の時価が非課税投資額の上限を超えているなど）ため	5.5
7. 投資した商品を売却しても、損益通算ができないため	1.5
8. 投資した商品を売却しても、当該商品の買付時の非課税投資額の枠を再投資に利用できないため	3.5
9. 銀行に NISA 口座を開設したが、株式に投資しようと考えているため	6.0
10. 投資の方法が良く分からないため	22.5
11. 口座開設キャンペーンの景品などを目的としていたため	8.0
12. その他（具体的に)	9.5

(NA:1.5)

※ 回答後、問 27 へお進みください。

【NISA 口座を開設するつもりはない、または、言葉は聞いたことあるが興味はない方に（問 23 で、「4」または「6」に○印の方）】

問 25 NISA 口座を開設するつもりはない、または、NISA に興味がない理由は何ですか。（いくつでも）

【n=2,454】

1. NISA について良く分からないため	41.7
2. NISA 口座の開設手続きが面倒であるため	10.4
3. NISA の非課税投資額が少額である（投資したい商品の時価が非課税投資額の上限を超えているなど）ため	3.4
4. 投資した商品を売却しても、損益通算できないため	2.6
5. 投資した商品を売却しても、当該商品の買付時の非課税投資額の枠を再投資に利用できないため	0.5
6. NISA 口座を開設すると、通常の口座との二重の管理が煩わしいため	3.9
7. 確定拠出年金（企業型や iDeCo（イデコ））を利用しており、NISA で投資する資金がないため	1.7
8. 持株会や相続など、NISA 口座に受け入れることができない手段で取得した商品のみを保有しているため	0.4
9. 証券投資をするつもりがないため	60.9
10. その他（具体的に	3.3

(NA:1.9)

※ 回答後、問 27 へお進みください。

【NISA 口座に興味を持っている方に（問 23 で、「5」に○印の方）】

問 26 NISA 口座に興味はあるが、開設していない理由は何ですか。（いくつでも）【n=694】

1. NISA 口座の開設手続きが面倒であるため	52.4
2. 投資したい金融商品が NISA の対象ではないため	2.7
3. NISA の非課税投資額が少額である（投資したい商品の時価が非課税投資額の上限を超えているなど）ため	3.7
4. 投資した商品を売却しても、損益通算できないため	3.3
5. 投資した商品を売却しても、当該商品の買付時の非課税投資額の枠を再投資に利用できないため	1.3
6. NISA 口座を開設すると、通常の口座との二重の管理が煩わしいため	12.2
7. 確定拠出年金（企業型や iDeCo（イデコ））などの他の制度を使って投資をしたいため	6.9
8. つみたて NISA 口座を開設または開設予定であるため	9.9
9. その他（具体的に	24.2

(NA:1.3)

※ 回答後、問 27 へお進みください。

【全員にお伺いします。】

問 27 あなたは、「つみたて NISA」についてご存知ですか。（1 つだけ）

また、つみたて NISA 口座で投資をしている方は、その投資額（買付合計金額）を 160 万円以内でお答えください。【n=7,000】

1. つみたて NISA 口座を開設し、つみたて NISA 口座で投資をしている→	平均値 47.9 万円	3.8
2. つみたて NISA 口座を開設しているが、つみたて NISA 口座で投資をしたことはない		1.6
3. つみたて NISA の内容を理解しており、今後、つみたて NISA 口座を開設したい		2.4
4. つみたて NISA の内容を理解しているが、つみたて NISA 口座を開設するつもりはない		4.9
5. つみたて NISA という言葉を聞いたことがあり、興味を持っている		9.9
6. つみたて NISA という言葉を聞いたことはあるが、興味はない		23.7
7. 知らない		53.5

(NA:0.2)

問 28 あなたは、2024 年から NISA 制度の内容が変わることをご存知ですか。（1 つだけ）【n=7,000】

1. NISA 制度の変更について、内容も含めて知っている	2.2
2. NISA 制度の変更の内容はよくわからないが、聞いたことはある	7.8
3. 知らない	89.1

(NA:0.9)

【全員にお伺いします。】

問 29 あなたは、現在、確定拠出年金制度（注）に加入していますか。（いくつでも）【n=7,000】

1. 企業型確定拠出年金に加入している	8.1
2. iDeCo（イデコ）に加入している	2.1
3. 確定拠出年金に加入していないが、今後加入を検討している	1.1
4. 確定拠出年金に加入していないが、関心はある	7.6
5. 確定拠出年金に加入しておらず、関心もない	34.4
6. わからない	47.0

(NA:0.1)

（注）確定拠出年金制度（いわゆる「日本版 401 k」）は、加入者や加入者が勤めている企業が資金を出して積立てを行い、その積立金を加入者自らが投資信託や預金などで運用し、運用の結果に応じた積立額を老後に年金として受け取る制度です。確定拠出年金には、この制度を実施する企業に勤務する人が加入できる【企業型】と、自営業者や企業年金がなく、かつ、この制度を実施しない企業に勤務する人が加入できる【個人型（iDeCo）】の 2 種類があります。

〔４〕証券会社についてお伺いします。

【全員にお伺いします。】

問 30 あなたが「証券会社」について、ご存知のことをお答えください。（いくつでも）【n=7,000】

1. 顧客の株式などの売買注文を証券取引所に取り次いでいる	51.0
2. 自ら株式などの売買を行っている	28.7
3. 公社債や投資信託を販売している	27.4
4. 企業の資金調達が円滑となるよう支援している	8.9
5. 投資セミナーを開催している	27.9
6. 資産形成や相続に関する相談業務を行っている	14.4
7. 「顧客本位の業務運営」の実現に向けた取組み（注2）を行っている	2.4
8. 顧客の金銭・有価証券を自社の固有資産と分けて分別管理している	4.6
9. 自己資本規制比率（注3）を維持しながら業務を行っている	3.0
10. 行政（証券取引等監視委員会など）や自主規制機関（日本証券業協会など）の 検査を受けている	7.8
11. 上記の中で知っていることはない	37.4

(NA:0.2)

（注1）1～6は、証券会社の業務の一例であり、各証券会社の業容により、行っていないこともあります。

（注2）7は、金融庁の「顧客本位の業務運営に関する原則」を踏まえ、証券会社においては、自ら「顧客本位の業務運営に関する取組方針」を定め、顧客本位の業務運営の実現に向けた取組みを行うこととしています。

（注3）9の「自己資本規制比率」とは、証券会社の経営の健全性を測る指標であり、法令により120%を下回ることはないよう義務付けられています。

問 31 あなたは証券会社について、どのようなイメージをお持ちですか。（いくつでも）【n=7,000】

1. 積極的である	9.9	6. 将来性がある	3.8
2. 身近である	3.6	7. 勧誘がしつこい	15.2
3. 信頼できる	3.7	8. 敷居が高い	42.1
4. 社会の役に立っている	5.9	9. あまり信頼できない	27.9
5. 経済情報を発信している	22.8	10. その他（具体的に	6.9

(NA:1.6)

問 32 現在、あなたは証券会社と取引していますか。（1つだけ）

また、取引している方はその会社数及び特定口座（注）を開設している会社数をお答えください。

【n=7,000】

1. 現在取引している → 平均値 1.4 社	13.1	→ 問 33 へお進みください。
[そのうち特定口座 → 平均値 1.2 社]		
2. 以前取引していたが、現在は取引していない	6.2	→ 問 35 へお進みください。
3. これまでに取引したことがない	80.3	→ 問 37 へお進みください。

(NA:0.4)

（注）特定口座とは、上場株式や投資信託などで資産運用している個人投資家の譲渡損益についての納税手続を簡易にする証券会社の口座のことです。

【現在、証券会社と取引している方に（問 32 で、「1」に○印の方）】

問 33 取引している証券会社についてお伺いします。その証券会社を選んだ理由をお答えください。（いくつでも）
【n=916】

1. 信用のある会社だから	35.5
2. 自宅や勤め先の近くにあるなど立地が便利だから	11.5
3. 家族・親戚・友人・知人が勤めているから	14.2
4. 営業員が良い情報を知らせてくれたから	8.7
5. 親しみやすい、または、信頼できる営業員がいるから	5.1
6. 家族・親戚・友人・知人が取引をしていたから	17.9
7. インターネット取引があるから	32.9
8. インターネット取引のサイトが使いやすいから	17.8
9. その会社でしか扱っていない商品やサービスがあるから	3.9
10. 売買手数料などが安い（無料）など、取引条件が良かったから	17.0
11. その他（具体的に	9.9

(NA:0.2)

問 34 あなたは、証券会社と主にどのような方法により取引をしていますか。（1つだけ） 【n=916】

1. 店頭における営業員との対面（電話注文、営業員の訪問による注文を含む。）により取引をしている	42.8
2. パソコンやタブレットを利用してインターネット取引をしている	30.1
3. スマートフォンを利用してインターネット取引をしている	20.1
4. その他（具体的に	5.9

(NA:1.1)

※ 回答後、問 37 へお進みください。

【証券会社と以前取引していたが、現在は取引していない方に（問 32 で、「2」に○印の方）】

問 35 証券会社との取引をやめられたのはどのような理由からですか。（いくつでも） 【n=437】

1. 以前損をした（または期待したような利益が得られなかった）から	41.2
2. 資金がなくなった（または現金が必要になった）から	34.3
3. 証券会社のサービス（営業員の説明、購入後のアフターフォローを含む）がよくなったから	11.4
4. 証券会社と取引する時間がなくなったから	7.1
5. 担当していた営業員が代わったから	11.2
6. 証券会社や証券会社の担当者が信用できないから	5.5
7. 銀行、投信会社との証券取引に変更したから	5.3
8. 預金や保険など銀行や保険会社の金融商品による運用に変更したから	13.5
9. 金融資産保有額が目標とする額に達し、証券会社で運用する必要がなくなったから	4.1
10. その他（具体的に	9.6

(NA:0.5)

問 36 あなたは、今後どのような条件が整えば、証券会社との取引を再開することを考えますか。（いくつでも）
【n=437】

1. 有価証券を購入する資金ができれば	22.4
2. 証券投資に関する知識が増えたら	12.6
3. 興味のある商品やサービスが提供されたら	12.6
4. 有価証券を購入する手続きが簡単になったら	4.6
5. 証券会社が自宅や勤務先の近くにできれば	1.8
6. 休日や平日夜間に投資相談ができるようになったら	3.0
7. 証券会社の手数料が下がったら	9.8
8. 信頼できる証券会社や証券会社の担当者ができれば	8.7
9. NISA（少額投資非課税制度）や、つみたてNISA が使いやすくなったら	9.6
10. その他（具体的に	1.6
11. 証券会社と取引するつもりはない	52.4

(NA:1.4)

〔5〕株式についてお伺いします。

【全員にお伺いします。】

問 37 「株式」に関する次の事柄のうち、あなたをご存知のことをお答えください。（いくつでも）

【n=7,000】

1. 株式会社が事業資金の調達などのために発行するものである	47.1
2. 株式には取引所に上場しているものと上場していないものがある	53.4
3. 株主になると株主優待や配当金を受け取れることがある	63.9
4. 経営状態や資産価値を測る指標として PER、PBR、ROE などがある	9.4
5. 株式累積投資や株式ミニ投資（注）など少額で投資する方法もある	12.8
6. 公的年金は株式等で資産運用されている	20.7
7. 上記の中で知っていることはない	26.3

(NA:0.2)

（注）株式累積投資とは、毎月少額で定時定額の積立を行うものであり、株式ミニ投資とは、通常の買付けに必要な額の 10 分の 1 の資金で行うものです。

問 38 あなたは、これまでに株式（上場株・非上場株を含めて）を保有したことがありますか。（1 つだけ）

また、現在保有している方は、保有銘柄数をお答えください。【n=7,000】

1. 現在持っている → 平均値 4.0 銘柄	13.3	→ 問 39 へお進みください。
2. 以前持っていたが、現在は持っていない	6.6	
3. これまでに持ったことがない	79.7	→ 問 43 へお進みください。

(NA:0.4)

【これまでに株式を持ったことがある方に（問 38 で、「1」または「2」に○印の方）】

（株式を現在は持っていない方は、持っていた当時のことについてお答えください。）

問 39 はじめてあなたが株式を購入したのは、どのようなきっかけからですか。（いくつでも）

【n=1,390】

1. 証券会社に勧められて	18.6
2. 銀行に勧められて	6.5
3. 家族・親戚・友人・知人に勧められて	32.4
4. 相続で証券会社に口座を開設して	4.5
5. 株式に関する講演会を聞いて	2.0
6. まとまった資金ができて	12.7
7. 従業員持株会または役員持株会などに加入して	24.5
8. 株式投資を取り上げたテレビ番組を見て	3.3
9. 新聞・雑誌で株式投資に関する記事を見て	8.5
10. インターネットで株式投資に関する記事を見て	11.5
11. 証券会社の広告・ダイレクトメールなどを見て	0.8
12. NISA（少額投資非課税制度）が始まったことを知って	4.0
13. その他（具体的に	8.8

(NA:0.5)

問 40 あなたが株式を購入した理由をお答えください。（いくつでも）【n=1,390】

1. 短期の値上がり益を期待して	30.6
2. 長期にわたっての資産運用として	33.2
3. 配当がもらえるから	48.3
4. 株主優待が受けられるから	36.6
5. その企業を応援できると考えたから	14.9
6. 株主総会でその企業に意見や質問ができるから	0.6
7. 従業員持株会または役員持株会などに加入したから	19.8
8. NISA（少額投資非課税制度）で資産形成を始めようと思ったから	4.8
9. その他（具体的に	6.2

(NA:0.9)

問 41 あなたが株式投資で不満に思う、あるいは思ったのはどのようなことですか。（いくつでも）
【n=1,390】

1. 期待したほどの利益・配当がなかった	35.4
2. 証券会社からの情報提供が十分でなかった	10.2
3. 証券会社からの連絡に振り回された	4.9
4. 発行会社からの情報が十分でなかった	2.4
5. 手数料が高い	24.9
6. 手数料体系が複雑	6.5
7. 税金が高い	19.9
8. 値下がりで損をした	28.3
9. NISA（少額投資非課税制度）の使い勝手が悪い	2.0
10. 夜間に売買を行うことができない	4.2
11. その他（具体的に	2.2
12. 不満に思ったことはない	26.0

(NA:0.8)

問 42 現在、株主総会にあたり、株主総会資料（注）は、郵送にて株主へ書面交付されていますが、書面交付に代え、各社のホームページ等での閲覧を原則とし、書面交付を請求した株主のみ株主総会資料を郵送する制度が2022年度中に開始されます。あなたは、ホームページ等での閲覧が原則となった場合、株主総会資料の書面交付を請求しますか。（1つだけ）【n=1,390】

1. 株主総会資料の書面交付を請求するつもりはない	48.2
2. 株主総会資料の書面交付を請求したい	11.7
3. わからない	39.1

(NA:1.1)

（注）株主総会資料とは、株主総会に関し、株主に提供される資料（株主総会参考書類、議決権行使書面、計算書類及び事業報告等）を指します。

※ 回答後、問 44 へお進みください。

【これまでに株式を持ったことがない方に（問 38 で、「3」に○印の方）】

問 43 あなたがこれまで株式を購入しなかったのは、どのような理由からですか。（いくつでも）

【n=5,581】

1. 配当が少なく利回りが低いから	1.2
2. 値下がりの危険がある（元本の保証がない）から	23.4
3. 株価の動きなどに神経を使うのが嫌だったから	17.2
4. 購入手続きが煩雑そうだから	13.1
5. 株式投資をするほどの資金がなかったから	24.6
6. 十分な知識をまだ持っていないと思った（どの銘柄を買ったらよいかわからなかった）から	27.2
7. 職場における株式売買ルールが厳しいから	0.6
8. 証券会社や証券会社の担当者が信用できないから	1.8
9. 株式市場に良いイメージがなかったから	4.5
10. 損をしたという人の話を聞いたから	14.0
11. ギャンブルのようなものだと思ったから	24.5
12. その他（具体的に	1.4
13. 株式に興味がないから	55.1

(NA:0.3)

〔6〕投資信託についてお伺いします。

【全員にお伺いします。】

問 44 「投資信託」に関する次の事柄のうち、あなたをご存知のことをお答えください。（いくつでも）

【n=7,000】

1. 証券会社以外の金融機関（銀行や郵便局）でも購入できる	30.7
2. 分配金を受け取れることがある	29.7
3. 投資者から集めたお金をひとつの資金にまとめ、専門家が投資・運用するものである	23.4
4. 証券投資信託を大別すると、公社債投資信託と株式投資信託に分けられる	7.5
5. 取引所に上場し、上場株式と同様に売買ができる上場投資信託（ETF）がある	6.3
6. 投資する有価証券の種類、国・地域、通貨などを分けて投資（分散投資）することでリスクを減らすことができる	11.6
7. 定時定額積立てにより少額で投資する累積投資という方法もある	7.9
8. 上記の中で知っていることはない	53.1

(NA:0.3)

問 45 あなたは、これまでに投資信託を保有したことがありますか。（1つだけ）

また、現在保有している方は、保有銘柄数をお答えください。【n=7,000】

1. 現在持っている → 平均値 2.7 銘柄	10.1	→ 問 46 へお進みください。
2. 以前持っていたが、現在は持っていない	4.3	
3. これまでに持ったことがない	84.9	→ 問 50 へお進みください。

(NA:0.7)

【これまでに投資信託を持ったことがある方に（問 45 で、「1」または「2」に○印の方）】

（投資信託を現在は持っていない方は、持っていた当時のことについてお答えください。）

問 46 あなたは投資信託をどこで購入しますか。（いくつでも）【n=1,009】

1. 証券会社の店頭（電話注文、営業員の訪問による注文を含む）で	31.7
2. 証券会社のインターネット取引（パソコン、スマートフォン等）で	20.6
3. 金融機関の店頭（電話注文、営業員の訪問による注文を含む）で	43.7
4. 金融機関のインターネット取引（パソコン、スマートフォン等）で	9.9
5. 確定拠出年金制度で	7.8
6. その他（具体的に	2.7

(NA:0.7)

問 47 あなたは、投資信託を購入する際に、どのような点を考慮しますか。(いくつでも)【n=1,009】

1. 成長性や収益性の高さ	53.7
2. リスクの低さや安定性	64.6
3. 分配金の頻度や運用実績	31.8
4. 商品内容のわかりやすさ	20.3
5. 商品のコンセプト(環境に配慮した企業に投資しているなど)	10.1
6. 手数料や信託報酬の水準	22.8
7. 評価会社による評価	10.4
8. 純資産額の大きさ	8.8
9. その他(具体的に)	1.1
10. 特に考慮している点はない	6.2

(NA:0.6)

問 48 あなたが投資信託を購入した理由をお答えください。(いくつでも)【n=1,009】

1. 短期の値上がり益を期待して	16.6
2. 長期にわたっての資産運用として	54.0
3. 定期的に分配金が受け取れるから	32.6
4. 積立て投資ができるから	21.1
5. 比較的少額でも投資できるから	30.9
6. 分散投資ができるから	20.7
7. 投資信託の購入を通じて社会貢献ができると考えたから	2.2
8. 専門家の運用に期待できるから	9.4
9. 個別企業の研究や銘柄の知識収集に時間を費やす必要がないから	5.6
10. 株式に比べて安心なイメージがあるから	15.6
11. NISA(少額投資非課税制度)やつみたてNISAで資産形成を始めようと思ったから	14.6
12. iDeCo(イデコ)で資産形成を始めようと思ったから	3.8
13. その他(具体的に)	6.6

(NA:0.7)

問 49 あなたが投資信託について不満に思う、あるいは思ったのはどのようなことですか。(いくつでも)【n=1,009】

1. 期待したほどの利益や分配金がなかった	42.2
2. 証券会社・金融機関からの情報提供が十分でなかった	11.3
3. 証券会社・金融機関からの連絡に振り回された	3.5
4. 手数料・信託報酬が高い	24.8
5. 手数料体系が複雑	8.3
6. 税金が高い	16.6
7. 証券会社・金融機関の品揃えが少ない	2.0
8. 値下がりで損をした	22.6
9. NISA(少額投資非課税制度)や、つみたてNISAの使い勝手が悪い	1.2
10. 似たような商品が複数あり、違いが良く分からない	15.8
11. その他(具体的に)	1.7
12. 不満に思ったことはない	21.5

(NA:1.3)

※ 回答後、問 51 へお進みください。

【これまでに投資信託を持ったことのない方に（問 45 で、「3」に○印の方）】

問 50 あなたがこれまで投資信託を購入しなかったのは、どのような理由からですか。

（いくつでも）【n=5,941】

1. 分配金が少ないから	1.6
2. 値下がりの危険がある（元本の保証がない）から	16.8
3. 投資信託の値動きなどに神経を使うのが嫌だったから	9.7
4. 購入手続きが煩雑そうだから	9.1
5. 投資信託を購入するほどの資金がなかったから	16.5
6. 商品の仕組みが複雑なため	7.5
7. 十分な知識をまだ持っていないと思った（どの銘柄を買ったらよいかわからなかった）から	22.2
8. 証券会社・金融機関の担当者が信用できないから	1.8
9. 損をしたという人の話を聞いたから	7.9
10. ギャンブルのようなものだと思ったから	16.9
11. その他（具体的に)	1.7
12. 投資信託に興味がないから	64.7

(NA:0.2)

〔 7 〕 公社債についてお伺いします。

【全員にお伺いします。】

問 51 「公社債」に関する次の事柄のうち、あなたをご存知のことをお答えください。（いくつでも）

【n=7,000】

1. 国が発行する国債、企業が発行する社債などがある	44.3
2. 保有している間は、定期的に利子を受け取れ、満期日に元本が償還される	15.5
3. 元利金支払いの確実性（信用状態）を評価した格付けが格付機関により付されているものがある	6.6
4. 国債には、1万円から購入できる個人向け国債がある	15.3
5. 一定の公社債等の利子・償還差損益・譲渡損益は、上場株式等の配当金や譲渡損益と損益通算できる	3.1
6. 上記の中で知っていることはない	52.7

(NA:0.2)

問 52 あなたは、これまでに公社債（国債、地方債、社債、転換社債、金融債、仕組債など（外国で発行されたものを含む））を保有したことがありますか。（1つだけ）

また、現在保有している方は、保有銘柄数をお答えください。【n=7,000】

1. 現在持っている	→	平均値 1.6	銘柄	2.1	→ 問 53 へお進みください。
2. 以前持っていたが、現在は持っていない				4.6	
3. これまでに持ったことがない				93.2	→ 問 56 へお進みください。

(NA:0.1)

【これまでに公社債を保有したことがある方に（問 52 で、「1」または「2」に○印の方）】

（公社債を現在は持っていない方は、持っていた当時のことについてお答えください。）

問 53 あなたは公社債をどこで購入しますか。（いくつでも）【n=465】

1. 証券会社の店頭（電話注文、営業員の訪問による注文を含む）で	41.7
2. 証券会社のインターネット取引（パソコン、スマートフォン等）で	5.6
3. 金融機関の店頭（電話注文、営業員の訪問による注文を含む）で	51.8
4. 金融機関のインターネット取引（パソコン、スマートフォン等）で	2.2
5. その他（具体的に	3.4

(NA:0.6)

問 54 あなたが公社債を購入した理由をお答えください。（いくつでも）【n=465】

1. 預貯金に比べて利回りが有利だから	57.4
2. 比較的安全だから	69.2
3. 利息が途中で変わらないから	17.2
4. 比較的換金しやすいから	12.5
5. 手頃な金額でできるから	25.6
6. 公社債の購入を通じて社会貢献ができると考えたから	4.3
7. 償還日が資産運用期間として手頃だから	8.6
8. 抽選などによりプレゼントをもらえるから	2.8
9. その他（具体的に)	5.8

(NA:0.4)

問 55 あなたが公社債投資で不満に思う、あるいは思ったのはどのようなことですか。（いくつでも）

【n=465】

1. 期待したほどの利回りがなかった	37.8
2. 証券会社・金融機関からの情報提供が十分でなかった	11.2
3. 証券会社・金融機関からの連絡に振り回された	2.8
4. 気配や価格がよくわからない	9.5
5. 税金が高い	8.8
6. 購入したくてもすぐ売り切れてしまい、購入できなかった	3.9
7. 償還前に売却しづらい	8.8
8. 値下がりで損をした	8.0
9. その他（具体的に)	1.1
10. 不満に思ったことはない	36.1

(NA:1.3)

※ 198 ページの「〔8〕最後にあなたの状況についてお伺いします。」へお進みください。

【これまでに公社債を保有したことがない方に（問 52 で、「3」に○印の方）】

問 56 あなたがこれまで公社債を購入しなかったのは、どのような理由からですか。（いくつでも）

【n=6,526】

1. 利回りが低いから	4.9
2. 値下がりの危険がある（元本の保証がない）から	6.9
3. 公社債の値動きなどに神経を使うのが嫌だったから	4.8
4. 購入手続きが煩雑そうだから	6.9
5. 公社債を購入するほどの資金がなかったから	12.0
6. 商品の仕組みが複雑なため	4.1
7. 十分な知識をまだ持っていないと思った（どの銘柄を買ったらよいかわからなかった）から	17.0
8. 証券会社や金融機関の担当者が信用できないから	1.0
9. 損をしたという人の話を聞いたから	2.5
10. ギャンブルのようなものだったから	7.8
11. その他（具体的に)	1.5
12. 公社債に興味がないから	72.1

(NA:0.7)

※ 198 ページの「〔8〕最後にあなたの状況についてお伺いします。」へお進みください。

〔 8 〕 最後にあなたの状況についてお伺いします。

【全員にお伺いします。】

F 1 あなたの性別は。（１つだけ）【n=7,000】

1. 男性 48.0	2. 女性 52.0
------------	------------

(NA:0.0)

F 2 あなたの年齢は。（１つだけ）【n=7,000】

1. 20～24歳	5.4	9. 60～64歳	7.4
2. 25～29歳	6.4	10. 65～69歳	10.0
3. 30～34歳	6.0	11. 70～74歳	8.3
4. 35～39歳	9.0	12. 75～79歳	5.2
5. 40～44歳	8.2	13. 80～84歳	6.4
6. 45～49歳	9.6	14. 85～89歳	2.5
7. 50～54歳	7.7	15. 90歳以上	0.6
8. 55～59歳	7.1		

(NA:0.0) 〔平均値〕 53.5 歳

F 3 配偶者について。（１つだけ）【n=7,000】

1. あり 68.1	2. なし 30.1
------------	------------

(NA:1.9)

F 4 あなたのご職業は。（１つだけ）【n=7,000】

1. 自営業主 (農林漁業、商工、サービス)	10.8	7. パート・アルバイト・フリーター	15.3
2. 自由業（開業医、弁護士など）	0.6	8. 専業主婦・専業主夫	13.7
3. 家族従業者（家業手伝い）	1.5	9. 無職・年金のみ	20.4
4. 常勤雇用（役員・管理職）	7.5	10. 学生	1.8
5. 常勤雇用（非管理職）	23.9	11. その他 (具体的に)	0.3
6. 契約社員・派遣社員	4.2		

(NA:0.0)

F 5 あなたの現在の主な収入源はどれでしょうか。（１つだけ）【n=7,000】

1. 給与所得	52.8	4. 貯蓄の取り崩し	1.4	7. 特に収入はない	10.2
2. 事業所得	7.3	5. 家賃・地代	0.8	8. その他	0.8
3. 利子・配当	0.4	6. 恩給・年金	26.2	(具体的に)	

(NA:0.2)

F 6 あなたの年収（昨年１年間の税込み収入）はどの位でしょうか。（１つだけ）【n=7,000】

1. 100万円未満	25.4	5. 400～500万円未満	8.8	8. 1,000～1,500万円未満	1.1
2. 100～200万円未満	19.0	6. 500～700万円未満	8.0	9. 1,500～2,000万円未満	0.2
3. 200～300万円未満	15.4	7. 700～1,000万円未満	4.1	10. 2,000万円以上	0.1
4. 300～400万円未満	10.5				

(NA:7.4) 〔平均値〕 280.1 万円

F 7 あなたが現在読んでいる新聞（電子版を含む）をお答えください。（いくつでも）【n=7,000】

1. 朝日新聞	9.1	4. 産経新聞	2.1	7. スポーツ新聞	3.0
2. 読売新聞	12.4	5. 日本経済新聞	3.5	8. その他(具体的に)	4.5
3. 毎日新聞	3.1	6. 地方紙	23.7	9. 現在読んでいる新聞は特にない	45.3

(NA:0.2)

F 8 あなたのご家庭での世帯主との続柄をお答えください。（1つだけ）【n=7,000】

1. 世帯主本人	51.2	4. 世帯主の親	1.7
2. 世帯主の配偶者	33.9	5. 世帯主の孫	0.2
3. 世帯主の子	12.4	6. その他（具体的に)	0.4

(NA:0.1)

F 9 あなたのご家庭（世帯）のお住まいは。（1つだけ）【n=7,000】

1. 戸建の持ち家	75.7	4. 給与住宅（官舎、社宅）	0.8
2. その他の持ち家（マンションなど）	5.8	5. 間借り	0.8
3. 賃貸住宅（公社、民間など）	16.5	6. その他（具体的に)	0.3

(NA:0.1)

F 10 あなたのご家庭（世帯）のご家族の人数をお答えください。（1つだけ）【n=7,000】

1. 1人（単身世帯）	11.1	4. 4人	23.1	7. 7人	0.8
2. 2人	28.8	5. 5人	10.0	8. 8人	0.3
3. 3人	22.4	6. 6人	3.0	9. 9人以上	0.1

(NA:0.3) 【平均値】 3.1人

F 11 あなたの20歳未満のお子さん・お孫さん（働いているお子さん・お孫さんを除く）の人数を教えてください。（1つだけ）【n=7,000】

1. 0人（いない）	54.9	3. 2人	18.6	5. 4人	2.4
2. 1人	13.2	4. 3人	7.2	6. 5人以上	2.2

(NA:1.5) 【平均値】 0.9人

F 12 あなたのご家庭（世帯）のご家族全員の1年間の税込み収入（＝世帯年収）はどの位でしょうか。（1つだけ）【n=7,000】

1. 100万円未満	3.0	6. 500～700万円未満	17.4
2. 100～200万円未満	7.5	7. 700～1,000万円未満	14.9
3. 200～300万円未満	11.1	8. 1,000～1,500万円未満	8.1
4. 300～400万円未満	11.0	9. 1,500～2,000万円未満	1.5
5. 400～500万円未満	12.4	10. 2,000万円以上	0.9

(NA:12.0) 【平均値】 584.4万円

本報告書の内容を引用または転載する際には、出所を明記してください。
また、その掲載部分の写しを下記宛にご送付ください。

日本証券業協会 調査部

郵便番号 103-0027 東京都中央区日本橋2-11-2

電 話 03-6665-6763 F A X 03-6665-6807

Copyright© 2021

Japan Securities Dealers Association

Research Division

All rights reserved.

本報告書の内容及び数表をホームページに掲載しております。
ホームページ <https://www.jsda.or.jp/shiryoshitsu/toukei/data/index.html>

2021年12月発行

証券投資に関する全国調査

2021年度調査報告書（個人調査）

（助 成）

公益財団法人 資本市場振興財団

（編集・発行）

日本証券業協会 調査部

郵便番号 103-0027

東京都中央区日本橋2-11-2

電話 03-6665-6763

（実施・製表）

株式会社 日本リサーチセンター

東京都墨田区江東橋4-26-5

電話 03-6894-6400(代)

印刷 株式会社 港洋社